

HYUGA 2025-2032

第3次日向市総合計画

人と自然が響き合い、
にぎわいあふれる共創のまち日向



基本目標VI 人権・市民協働

個性と多様性を認め合い、誰もが自分らしく幸せに暮らせる共生のまち

【施策】

【具体的な施策】

6-1

人権・平和の尊重

- ① 人権・同和教育の推進
- ② 人権・同和行政の推進
- ③ 平和を尊ぶ意識の醸成

6-2

男女共同参画の推進

- ① 男女共同参画の意識づくり
- ② 女性の参画拡大と活躍の推進
- ③ 安全・安心な暮らしの実現

6-3

協働のまちづくりの推進

- ① 地域コミュニティの活性化★
- ② 団体活動の支援★
- ③ 広報・広聴活動の充実

6-4

多文化共生と国際交流の推進

- ① 国際感覚豊かな人材の育成
- ② 国際交流の推進と異文化理解
- ③ 外国人に優しいまちづくり

基本目標Ⅵ 人権・市民協働

施策6-4

多文化共生と 国際交流の推進



目指す姿

市民と外国人が、互いの文化的違いを認め合い、地域で協力しながら暮らしているまちになっています。

現状と課題

現状

- 国際化、グローバル化が進み、外国人観光客や在住外国人が増加しています。
- 在住外国人の増加に伴い、ごみ出しなどの地域社会におけるルールに関するトラブルが増加しています。
- 国際交流事業への参加者が固定化し、内容の偏りが生じています。
- 外国人であるという理由で住宅を借りられない場合があるなど、外国人への偏見と差別があります。
- 日本語が理解できず、日常生活に苦労している在住外国人がいます。

課題

- ▶ 国際感覚の豊かな人材を育成し、外国人と円滑にコミュニケーションができる力を身に付けるとともに、お互いの理解を深めていく必要があります。
- ▶ 在住外国人に対し、日本のマナーや地域のルールなどの周知を図る必要があります。
- ▶ 情報の発信や参画しやすい企画の充実を図る必要があります。
- ▶ 人権や異文化に対する理解を深め、違いを認め合えるような機会を増やす必要があります。
- ▶ 在住外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会をつくったり、「やさしい日本語」を使った表記を増やしたりする必要があります。



施策の方向性

国際感覚豊かな人材の育成

- ・ グローバル化に対応できる人材を育成するため、学校教育において外国語指導助手を活用し、発達の段階に応じた英語力（国際共通語）の習得や多文化共生意識の醸成に取り組みます。

国際交流の推進と異文化理解

- ・ 市民の国際感覚を醸成するため、国際交流員の活用や市民活動団体との連携により、交流の機会や異文化に触れる機会をつくれます。

外国人に優しいまちづくり

- ・ 多文化共生のまちづくりを進めるため、日本人・外国人向けの「やさしい日本語講座」や多言語での情報発信を実施します。

成果指標

主な指標	基準値 令和5(2023)年度	目標値 令和10(2028)年度
国際交流事業の参加者数	382 人	500 人
多文化共生社会のための事業数	10 事業	20 事業

協働の取組

市民・地域 	・ 国際感覚を身に付けるために、学校でどのような教育活動が行われているかを理解し、ボランティア活動や学校との連携を図りましょう。 ・ 学校が目指す教育の具体的な目標などを共有し、人材の提供や国際交流イベントでの交流などに協力しましょう。 ・ 文化の多様性を認め合い、地域の一員として互いを尊重するよう努めましょう。 ・ 地域のルールやマナー、習慣などについて広く周知を図りましょう。
企業・団体 	・ 外国人労働者が安心して生活できるよう、地域との連携に努めましょう。 ・ 外国人との交流を積極的に図りましょう。 ・ 学校の取組や地域の特性に応じ、社員による出前授業やインターンシップの提供などに努めましょう。 ・ 地域の特性や団体の専門性を生かし、ボランティア活動や交流イベントなどの取組をサポートしましょう。